

超福祉国家デンマークのお話

九州程度の面積で人口 550 万を容し、国政は立憲君主制（国会で可決されたことは元首である女王の名で発効、日本とほぼ同じ制度）決して豊かでない寒冷な自然環境、天然資源に乏しく風力発電など自然エネルギーを生かす先進国デンマークの福祉政策、世界にはこんな国もあると知りたくはありませんか。

相対的貧困率が日本の 1 / 3、失業率が 1 / 2、それでいて一人当たりの国民生産高は 2 倍の安定した黒点国家を運営しているデンマークのお話です。決して安くはない納税の仕組みと信頼関係に基づく再配分のシステム、人口減少をなくすための子育て策、移民の受け入れ、労働人口を守る教育システムや幾度も挑戦できる労働者再教育と支援制度、民主主義を守り育てるための青少年への社会参加と積極的な政治意識の教育、障害者や高齢者に対するセーフティーネット形成、国家予算の 42%が社会福祉に当てられそれでいて黒字経営の国家会計、私ども日本人がすぐにでも取り組まねばならないことが語られています。

新内閣が発足しました。今の日本はデンマークの政策をめざしますか、それともアメリカの政策、その追従を選びますか。あなたはどのようにお考えになりますか。

理事長 市丸 喜一郎

参考書：デンマークが超福祉大国になったこれだけの理由

ケージ・ステファン・スズキ

合同出版

（はまゆう倶楽部図書）